

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

佐賀県 武雄市

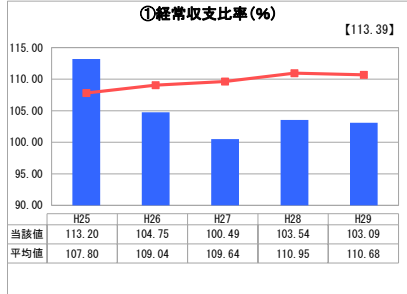
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	85.17	99.04	4,568	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,315	195.40	252.38
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,666	195.44	249.01

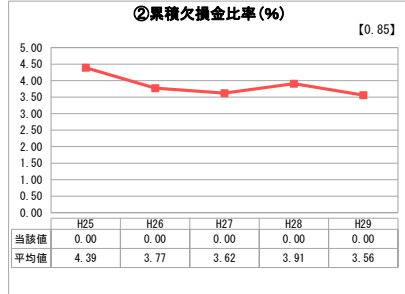
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 平成29年度全国平均

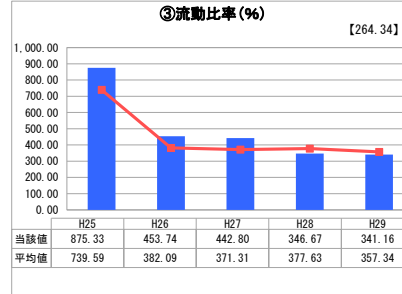
## 1. 経営の健全性・効率性



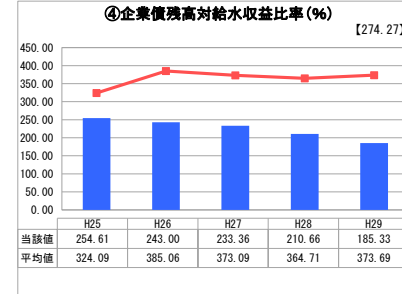
「経常損益」



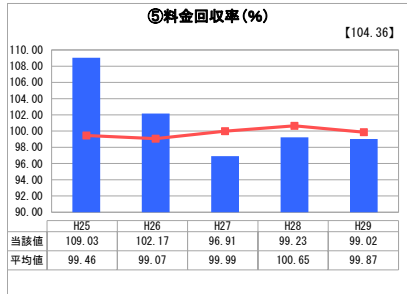
「累積欠損」



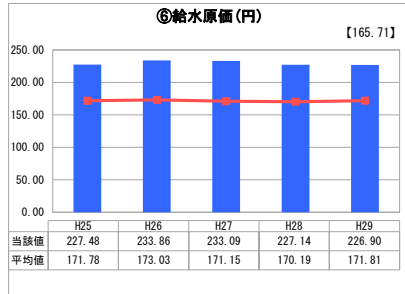
「支払能力」



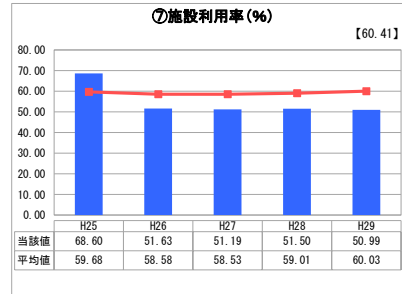
「債務残高」



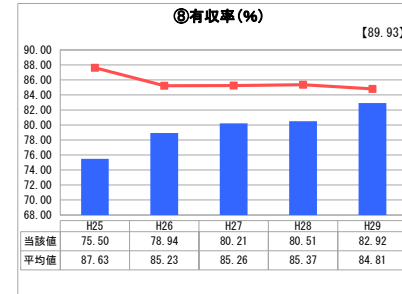
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

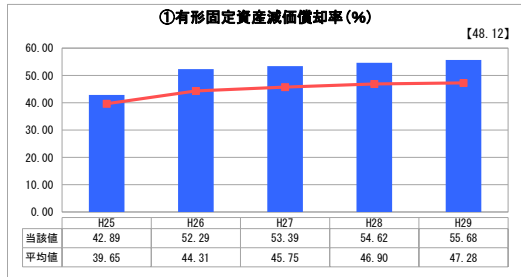


「施設の効率性」

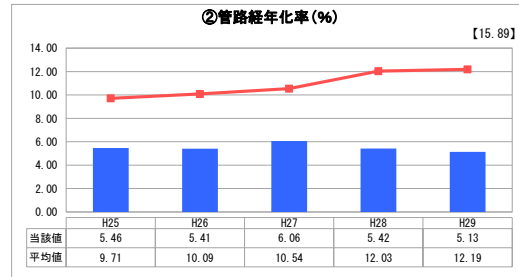


「供給した配水量の効率性」

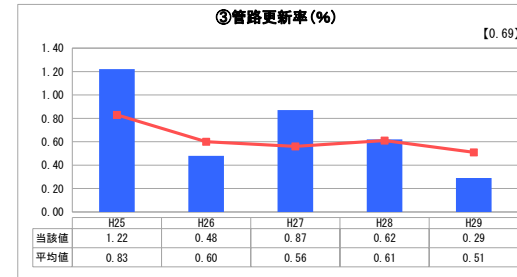
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%以上で推移し、また流動比率も高水準で推移していることから、経営の健全性は確保できていると判断できる。一方、給水原価は類似団体と比較し高水準で推移し、また平成26年10月の料金減額改定の影響により供給単価が低減しており、料金回収率は平成27年度以降100%を下回っている。未収金対策も含めた料金収入確保や、コスト的に有利な資材調達・計画的な建設投資による経費節減に努め、経営安定を図る。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について平均値を上回って推移しており、類似団体以上に施設の老朽化が進んでいると考えられる。施設統廃合の検討も含め計画的な施設更新が必要である。今年度において管路更新率が類似団体を下回っているが、施設新設に予算執行したこと及び大口径管の更新を行い更新延長が伸びなかったことが影響していると考えられる。老朽管更新・漏水調査を継続して実施しているが、引き続き計画的な管路更新や有収率の向上に努める。

### 全体総括

経営は概ね安定しているが、給水人口の減少、施設の老朽化等経営環境が厳しくなることが見込まれる中、サービス維持のため計画的・効率的な経営が求められる。市民負担の軽減も考慮しながら、経営努力を行うとともに施設の統廃合や広域事業統合を検討するなど経営の効率化を図る必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。